

## 令和7年度 学校自己評価結果

北九州市立八幡西特別支援学校

## 1 評価アンケート実施について

- ・対象 : 本校教員、全児童生徒の保護者、児童生徒（自主回答、聞き取り等）
- ・期間 : 令和7年12月15日（月）～令和8年1月9日（金）
- ・回答数 : 教職員 93/110 84.5%（前年 78.8%） 保護者 64/76 84.2%（前年 72.7%）  
児童生徒 48/67 71.6%（前年 83.1%）
- ・回答方法 : それぞれの質問に対して、  
A（できている）、B（だいたいできている）、  
C（あまりできていない）、D（できていない）から選択して回答する。

## 学校教育目標

児童生徒の健康面・安全面への配慮を教育活動の基盤とする

病気や障害のある児童生徒にその特性と能力に応じた教育を実施し、可能な限り社会参加・自立を目指し、生涯にわたって生きがいをもって生活できるよう、個性を伸ばし、生きる力の育成を図る。

「笑顔でもっとチャレンジ！」～可能性を引き出す～

## 2 アンケート集計結果及び経年比較

※昨年度を上回った評価を黄色で示しています。

## 児童生徒アンケート（昨年度から）

	内 容	A、Bの割合	
		R6	R7
1	学校に行くのが楽しい	97	94
2	自分からあいさつや返事ができた。	89	80
3	学習がよくわかり、勉強ができるようになった。	100	90
4	健康に気を付けて元気に過ごすことができた。	96	96
5	いろいろなことに笑顔でチャレンジできた。	96	89

## 保護者アンケート

	内 容	A、Bの割合		
		R5	R6	R7
1	子どもは、学校に楽しく通っている。		95	92
2	子どもは、あいさつや意思表示等（将来を見据えたキャリア教育や進路指導）に取り組んでいる。	89	90	86
3	学校は、一人一人に応じた学習指導をしている。	100	100	95

4	学校は、子ども一人一人の健康・安全に配慮した教育活動をしている。	96	99	97
5	学校は、家庭や地域、関係機関と連携して教育活動をしている。	96	97	97
6	学校は、授業公開や通信、ホームページ等で開かれた学校づくりをしている。	96	95	99
7	学校は、衛生面・安全面に十分配慮している。	94	97	96
8	保護者は、学部・学年通信や連絡帳などから、学校の様子を知ることができている。	100	100	98
9	保護者は、対話や連絡帳等で学校と情報交換をしている。	96	100	99

### 教職員アンケート

	内 容	A、Bの割合		
		R5	R6	R7
1	子どもたちは楽しく学び、笑顔でチャレンジすることができている。		98	100
2	キャリア教育の視点に立った進路指導の観点から、小・中・高等部の一貫した指導を進められた。	68	78	88
3	子ども一人一人に応じた学習指導ができている。	81	89	96
4	子ども一人一人の健康・安全に十分配慮した教育活動を実施している。	92	98	99
5	個別の教育支援計画や個別の移行支援計画を保護者や関係機関と連携して作成し、活用している。	90	89	95
6	地域との交流及び連携を進めることができている。	80	81	87
7	施設設備の安全点検を定期的に行い、衛生面・安全面に十分配慮することができている。	97	100	100
8	授業公開や学校開放、交流教育、学校ホームページ等で開かれた学校づくりに取り組んでいる。	78	87	98
9	連絡帳、学部・学年通信等で、保護者に学校の情報を提供している。	96	99	99

令和7年度学校自己評価アンケートへのご協力ありがとうございました。

今年度は例年以上に多くの皆様に回答いただき、回答率が上がりました。また、児童生徒、保護者、教職員共にほとんどの項目で高い数値が得られることができ、これも保護者や各関係機関の皆様のご協力のおかげと感謝申し上げます。

特に、課題であった「開かれた学校づくり」において、改善が見られました。今後も学校行事や授業参観、お便り、ホームページ等で学校の様子をお知らせして、子どもたちの成長を実感していただけるように努めてまいります。

次年度は満足度の低い項目に力を入れ、職員で意識を統一して取り組んで参ります。今後ともご理解とご協力をよろしくお願いいたします。